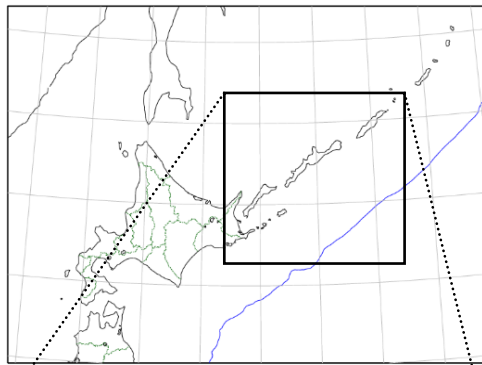


2月13日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2020年2月29日、
深さ0～200km、 $M \geq 3.5$)

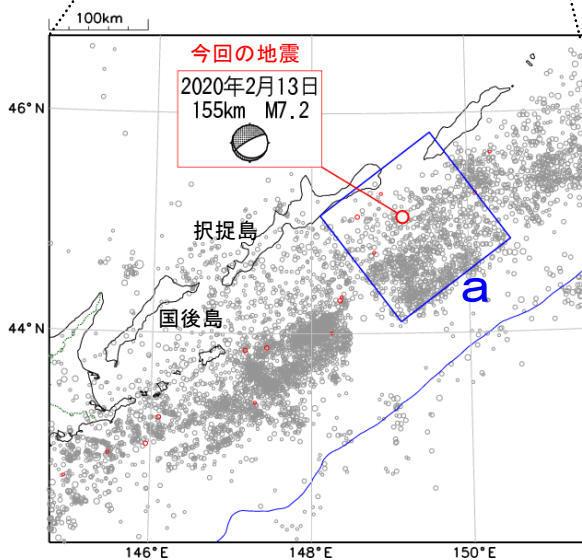
2020年2月の地震を赤で表示
図中の発震機構はCMT解



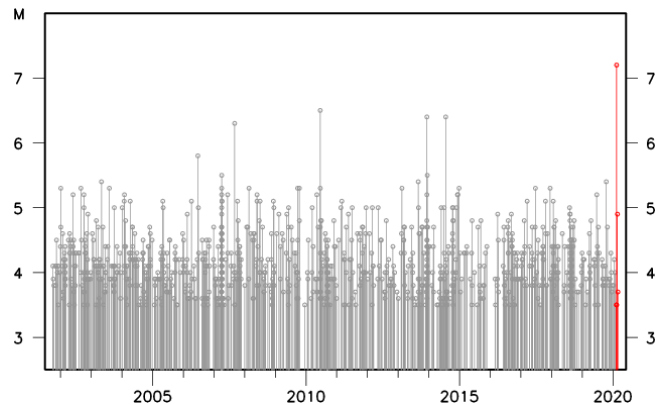
2020年2月13日19時33分に択捉島南東沖の深さ155kmでM7.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北西-南南東方向に張力軸を持つ型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が今回含め5回発生しており、M7.0を超える地震が発生したのは今回が初めてである。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M8.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は1994年10月4日の「平成6年（1994年）北海道東方沖地震」（M8.2、最大震度6）で、北海道では負傷者436人、住家全半壊409棟などの被害が生じ（「災害記録 北海道」による）、根室市花咲で168cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。

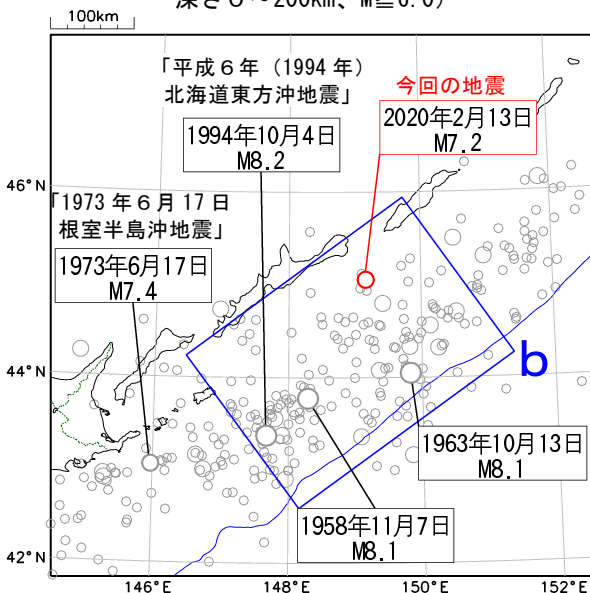


領域a内のM-T図



震央分布図

(1919年1月1日～2020年2月29日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図

